

令和5年度 学校評価アンケート結果分析

岐阜清流高等特別支援学校

1 生徒対象アンケート結果

○全21項目の質問に対し、A「よくあてはまる」とB「ややあてはまる」の肯定的回答が80%以上の項目は、19項目であった。

○肯定的回答が90%以上の高い項目は、4項目であった。

6「学校の先生は、進路に関する連絡や情報提供を分かりやすく伝えている。」

7「学校の先生同士が協力し合って、授業や学校行事に取り組んでいる」

8「学校の先生は、礼儀正しく、親切で親しみがもてる。」

10「学校の先生は、生徒たちの教育に熱心に取り組んでいる。」

●肯定的回答が70%台の低い項目は、2項目であった。

12「学校の先生は、生徒の気持ちや様子をくわしく知っている。」

19「毎日、学校に行くのが楽しい。」

△E「わからない」と回答した割合が15%以上の項目は、無かった。

2 保護者対象アンケート結果

○全30項目の質問に対し、A「よくあてはまる」とB「ややあてはまる」の肯定的回答が80%以上の項目は、26項目であった。

○肯定的回答が90%以上の高い項目は、4項目であった。

8「学校は、授業や学校行事等を参観する機会を設けて、教育活動について積極的に公開している。」

10「学校の先生と生徒あるいは保護者との懇談が十分に実施されている。」

12「学校の教職員は、礼儀正しく、親切で親しみがもてる。」

14「学校の先生は、生徒たちの教育に熱心に取り組んでいる。」

●肯定的回答が70%台の低い項目は、4項目であった。

17「学校の授業内容や進度は、生徒の実態に即している。」

- 19「学校では、体罰の防止に努めている。」
- 20「学校では、いじめや差別を許さず、厳しく対応している。」
- 29「学校は、卒業後の生活に向け、社会生活上のトラブルやリスクから身を守る教育を行っている。」

△E「わからない」と回答した割合が15%以上の項目は、3項目であった。

- 19「学校では、体罰の防止に努めている。」
- 20「学校では、いじめや差別を許さず、厳しく対応している。」
- 29「学校は、卒業後の生活に向け、社会生活上のトラブルやリスクから身を守る教育を行っている。」

3 考察と課題

- (1) アンケートの回収率は、生徒と保護者ともに99%（前年度93%）であった。
- (2) 学校運営に対しておおむね肯定的な評価であり、教職員の指導や情報公開について理解を得られている。
- (3) 生徒の肯定的回答が低い項目について、生徒ひとり一人の考えや行動の理解に努め、傾聴し、心のアンケートや教育相談も踏まえ、生徒の気持ちを丁寧を受け止められるように努めていきたい。
- (4) 保護者の肯定的回答が低い項目について、すべての項目において「否定的」でなく「わからない」回答が大きな割合を占めていた。このため、保護者や地域の方々への情報提供や説明の機会（ホームページの更新、すぐメールや各種通信の活用）を検討し、開かれた学校づくりを目指していきたい。